

第
41
回

\\ 認知症の人と家族への援助をすすめる //

全国研究集会in北海道

体験・
実践発表
募集

最期まで「私」らしく生きたい

開催日 2025年10月26日(日) 10:00~15:30(予定)

場 所 北星学園大学C館50周年記念ホール(札幌市)

北海道支部では、認知症の人と家族の会ができてからつどい、会報、電話相談などを通じて介護家族の励まし合い、支え合いと本人や介護者の声を社会に発信し、認知症の課題提起と関心を広めることを活動の原点としてきました。今、人生100年時代を迎え、誰もが最期まで「私」らしく生きていきたいと願うのではないのでしょうか。しかし現実には病気を患い、少子高齢化、核家族化、孤独化、介護を担う人材不足のほか、経済的な負担を抱えることも多く、将来の不安や悩みを持って生きている人も少なくありません。



北星学園大学

2024年1月に、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。認知症になったとしても最期まで「私」らしく生きるために、食べること、住むこと、医療を受けること、意思決定をすること、家族が可能な支援をされること、そのために関係者ととも考えていく機会とします。「家族の会」が長年訴えてきた「認知症になったらおしまいではない」ことを伝えられたらと思い、準備を進めています。

体験や実践を募集しています

上記のテーマを踏まえ、下記の2部門の発表を募集しています。

①体験部門

- ・認知症ご本人による発表、伝えたいことなど
- ・介護家族による発表

②実践部門

- ・行政、公的機関での制度や取り組み
- ・認知症ご本人や介護家族と医療・介護従事者との関わり
- ・若年性認知症への取り組み・支援の実践例
- ・その他、認知症ご本人・家族と、住みなれた地域の人とのつながりに取り組んだ実践例



50周年記念ホール

発表者：立場や職種を問いません。どなたでも応募できます。

■発表時間：口述発表15分以内

■応募方法：発表テーマとその内容(約1,000字程度)、住所、氏名、年齢、職業や立場を明記して、メールまたは郵送でお寄せください。選考結果については後日お知らせします。

■応募先：Eメール office@alzheimer.or.jp

郵送 〒602-8222 京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F
「家族の会」本部事務局 全国研究集会 体験・実践発表係

■応募締切：2025年6月13日(金)